

The 70th Anniversary Magazine

1955-2025

寄居町合併70周年記念誌

70年のあゆみ、確かな足跡。



寄居町

YORII TOWN

70年のあゆみ、

確かな足跡。

昭和30年2月11日、当時の寄居町、折原村、用土村、鉢形村、男衾村が合併し、今の寄居町が誕生しました。そして、令和7年2月11日に寄居町は合併70周年を迎えました。

合併でたどる

寄居町の歴史

昭和の大合併

戦後に制定された日本国憲法のもと、地方自治の確立が大きな課題となりました。当時の町村の中には、著しく小規模な自治体が多く、新たな事務や権限を円滑に執行する体制の整備が必要になったことから、国と都道府県の主導で、町村合併が進められました。これが「昭和の大合併」です。

寄居地区でも、寄居町・折原村・用土村・鉢形村・男衾村・花園村の1町5カ村による合併案のほか、本畠村・武川村・武川村の一部による合併案、寄居町・折原村・鉢形村の一部による合併案、花園村・用土村・武川村の一部による合併案など、多くの案が論議されました。

そこでこれらを一挙に解決する手段として、1町5カ村に本畠村・武川村を加えた1町7カ村の大合併の案が打ち出されました。

しかし、その後、花園村が大合併からの離脱を明らかにし、武川・本畠両村も2村での合併を表明するに至り、寄居町・折原村・用土村・鉢形村・男衾村の1町4カ村の合併に踏み切ることとなりました。

当時、町名については「寄居町」か「玉淀町」かという論議もなされたことが伝えられています。

Greeting from the Mayor

ごあいさつ

ふるさとへの恩返し

寄居町長

峯岸 克明



寄居町は令和7年2月11日に合併70周年を迎えました。今回の記念誌発行に合わせ、これまでの歴史を振り返り、町内外からいただいた多数の寄稿、メッセージを拝見しますと、寄居町が多くの皆様の青春の地、思い出のふるさと、出会いの場、挑戦の地、連綿と続く安らぎの里でもあったことがわかります。町も町民の皆様と共に成長し、多くの人材を輩出してまいりました。寄居町には先人たちの「確かな足跡」があります。

これからの話になりますが、多くの人々を育んできたこの「寄居町」を今度は私たちの手で日本一の町へ押し上げませんか。何をもちて日本一か。それは私たち町民が自ら幸せになることをもちてです。幸せとは、絶対的基準があるわけではなく、一人一人の心の持ち方で決まるものです。良いことがあったから幸せ、というより、日常の当たり前に感謝できる人、置かれた場所で幸せを見つけられる人、幸せになる勇気を持った人が多数いる町はおそらく日本で唯一無二の町となります。

「誇りある美しい町、寄居」を私たちの手で日本一の町へ！



合併の変遷



明治の大合併後（明治22年～）

寄居地区は寄居町・桜沢村・折原村・用土村・鉢形村・男衾村の1町5カ村に再編されました。



戦時中の合併後（昭和18年～）

寄居町は、秩父郡白鳥村大字金尾、大字風布の分割合併、桜沢村との合併が行われました。



昭和の大合併後（昭和30年～）

寄居町・折原村・用土村・鉢形村・男衾村が合併し、新寄居町が誕生しました。



第1回合併記念駅伝競走

昭和

昭和30年（1955年）1町4カ村が合併し、人口は約2万7千人となり、現在の寄居町が誕生しました。昭和30年代、日本全体が高度経済成長の時代に入り、国民生活は大きく変化しました。寄居町でも大きな変動の中で、水道・道路・学校などの生活基盤の整備が行われました。昭和50年代に入ると関越自動車道（東松山～前橋）や玉淀大橋が開通するなど、ライフラインの整備がさらに進み、交通の要衝として着実に発展を遂げ、昭和57年に人口は3万人を超えました。



昭和40年代 寄居駅南口

写真：堀口寿雄



建設中の新正喜橋



昭和58年 寄居橋上駅舎完成



昭和56年 中央公民館完成



昭和40年代 みかん狩り

1975-	1965-	1955-
昭和60年 (1985) 風布川・日本水が環境庁から「全国名水百選」に認定	昭和49年 (1974) 農免道路（鉢形～男衾）開通	昭和30年 (1955) 寄居町、折原村、用土村、鉢形村、男衾村が合併し、新寄居町が誕生
昭和58年 (1983) 寄居橋上駅舎完成	昭和50年 (1975) 寄居小学校新校舎完成	昭和31年 (1956) 第1回合併記念駅伝競走開催
昭和57年 (1982) 総合社会福祉センター「かわせみ荘」完成 町民憲章制定	昭和51年 (1976) 町史編さん事業開始	昭和32年 (1957) 新正喜橋開通
昭和56年 (1981) 中央公民館完成	昭和48年 (1973) 第1回産業祭開催	昭和33年 (1958) 折原中学校と鉢形中学校を統合し、城南中学校開校
昭和55年 (1980) 国道140号、254号玉淀バイパス、玉淀大橋開通	昭和45年 (1970) 桜沢小学校新校舎完成・移転	昭和34年 (1959) 金尾・鉢形で全国植樹祭開催
昭和54年 (1979) 関越自動車道（東松山～前橋）開通	昭和42年 (1967) 第22回国民体育大会（卓球）開催	昭和35年 (1960) 埼玉県立寄居高等学校開校
昭和53年 (1978) 玉淀大橋開通	昭和39年 (1964) 玉淀ダム完成	昭和37年 (1962) 埼玉県立寄居高等学校開校

平成

バブル経済の崩壊やリーマンショックなど、経済の長期低迷といわれる平成の時代。現在の役場庁舎や保健福祉総合センター（ユウネス）、鉢形城歴史館等の町の施設が完成。町の人口は3万8千人を越えた平成12年ごろをピークに、現在では約3万2千人と約6千人減少しています。

産業面では平成18年には彩の国資源循環工場がグランドオープン、平成25年にはホンダ寄居工場が本格稼働するなど、大きく発展しました。



よりの夏まつり



鉢形城跡



昭和60年ごろの寄居町



Honda完成車工場



昭和60年 風布川・日本水が全国名水百選に認定



昭和61年 新寄居橋開通

2005-	1995-	1985-
平成25年 (2013)	平成9年 (1997)	昭和61年 (1986)
平成20年 (2008)	平成11年 (1999)	平成元年 (1986)
平成18年 (2006)	平成16年 (2004)	寄居中学校と用土中学校を統合し、 新寄居中学校開校
平成17年 (2005)	平成9年 (1997)	町制施行100周年記念事業実施
鉢形城跡が「日本100名城」に選定	さいたま川の博物館開館	総合体育館・アタゴ記念館完成
彩の国資源循環工場グランドオープン	町立図書館開館	平成2年 (1990)
寄居高校閉校、寄居城北高校開校	鉢形城歴史館開館・鉢形城公園開園	平成3年 (1991)
農産物加工施設完成	彩の国資源循環工場「三ヶ山緑地公園」開園	国道254号金勝山トンネル開通
ホンダ寄居工場（現完成車工場）稼働開始	一般国道140号皆野寄居バイパス全線開通	日本の里風布館開館
天皇陛下（当時皇太子殿下）を迎えて 全国育樹祭お手入れ行事開催	平成17年 (2005)	全国水環境保全市町村シンポジウム開催
	平成16年 (2004)	役場新庁舎完成
	平成11年 (1999)	城南中学校が鉢形城跡内から移転
	平成9年 (1997)	町全域が国土庁から「水の郷」に認定
	平成7年 (1995)	日本水の森が林野庁から「水源の森百選」に認定
	平成6年 (1994)	保健福祉総合センター（ユウネス）完成

寄居町
ふるさと大使

町の魅力を全国に発信する「寄居町ふるさと大使」。現在は寄居町にゆかりのあるお二人が活躍しています。



シンガーソングライター
馬場 俊英



女優
熊谷 真実

この10年、少子高齢化・人口減少が進行する中、人工知能(AI)やビッグデータの活用、技術革新によって社会の在り方は大きく変化しました。寄居町では、ブータン王国やメアリズビル市(アメリカ合衆国オハイオ州)との国際交流や寄居駅南口周辺の中心市街地活性化事業に取り組みました。

また、寄居町出身のスポーツ選手が大いに活躍し、スポーツの盛んな町としても注目されました。



設楽悠太さん

写真：中西祐介/ゲップスポーツ



平成29年 ヨリイフィルムコミッションによる
ロケ誘致(劇場版宇宙戦隊キュウレンジャー)



平成30年 鉢形城の桜・エドヒガン
愛称「氏邦桜」に決定



平成29年 ブータン王国オリンピックチーム来町



原口文仁さん

©阪神タイガース

平成31年、令和元年(2019)	平成30年(2018)		平成29年(2017)				平成28年(2016)				平成27年(2015)												
3月	1月	9月	6月	4月	3月	2月	10月	9月	6月	5月	2月	11月	10月	8月	7月	4月	12月	7月	3月				
花園消防署寄居分署完成	寄居スマートインターチェンジ(下り線)開通	「寄居とろとろナス」商標登録	新井千鶴さん世界柔道選手権大会(連覇)	女優の熊谷真実さんがふるさと大使に就任	「ブータン×寄居陸上競技選手権大会2018」開催	鉢形城の桜・エドヒガン 愛称「氏邦桜」に決定	設楽悠太さん東京マラソン2018 日本新記録(当時)2時間6分11秒を樹立	シンガーソングライターの馬場俊英さんが寄居町初のふるさと大使に就任	新井千鶴さんが町民栄誉賞を受賞	999人でのSTAMADANCING(劇場版宇宙戦隊キュウレンジャー・ヨリイフィルムコミッションによるロケ誘致)	新井千鶴さん(男衾中出身)世界柔道選手権大会優勝	ブータン王国オリンピックチーム来町	ブータン料理バクシャパを町内小・中学校で提供	ブータン陸上オリンピックチームの事前キャンプ実施協定を締結	設楽悠太さん(男衾中出身)がリオ2016オリンピック陸上男子10000mに出場	八王子市・小田原市と姉妹都市盟約締結	ブータン陸上オリンピックチームの事前キャンプ実施協定を締結	阪神タイガース・原口文仁さん(城南中出身)プロ初出場	男衾駅東西自由通路・新駅舎供用開始	出張美術館in寄居開催	出張美術館in寄居開催	中学生海外相互交流事業開始	東武東上線鉢形駅リニューアルオープン



豊かな魅力が“ぎゅぎゅっと”詰まった 寄居町合併70周年記念ロゴマーク

70周年の文字デザインに、水の郷・^{さと}寄居町のシンボルである荒川(ブルー)、氏邦桜(鉢形城の桜・エドヒガン)をはじめとした町内を華やかにする桜(ピンク)・特産品のみかん(オレンジ)を図案化し表現しました。

記憶に残る1年に。 合併70周年記念事業

寄居町では、駅伝競走大会を皮切りに令和6年度から7年度にかけて合併70周年記念事業を実施しました。町の封筒や広報誌、愛のりタクシー等、さまざまな事業に記念ロゴマークを添えて、合併70周年を盛り上げました。寄居玉淀水天宮祭では、合併70周年を記念してプロジェクションマッピングを実施。玉淀の岸壁にロゴマークが大きく映し出され、合併70周年を来場者に強く印象付けました。

ここでは1年間にわたり実施した合併70周年記念事業の一部を時系列で振り返ります。また、寄居町にお住まいの皆さん、そして故郷を離れても寄居町を思う皆さんに思い出深いエピソードをお伺いしましたので、併せて紹介します。

2024

寄居町合併70周年記念
ロゴマーク使用開始

10.01

Episode 02



浅見 けい子 さん

末野2

寄居町が合併して70年。小さい頃の思い出を振り返ってみると、印象深かったのは、昭和34年に金尾山で開催された全国植樹祭の思い出です。寄居小のみんなが校舎の北側に日の丸の旗を持って、ずらりと並び当時の天皇陛下が乗る車を見送りました。車中にいる天皇陛下を見たのかどうか、今となっては思い出せませんが、最近秩父市で全国植樹祭があったこともあり、当時の様子を思い出しました。70年の間に、町はどんどん便利になっていきました。高度経済成長の中、道路はきれいになったり、歩道橋ができたり、駅にはエレベーターが付いたり…。寄居中学校があった駅の北側も様変わりし、立派な庁舎ができました。この先も地域の皆さんが協力して、より魅力的な町へと発展していくことを期待しています。私自身も町の発展のため、応援しますので、よろしく願います。合併70周年おめでとうございます。

Episode 01



吉田 昌弘 さん

武町

私は市街地で生まれ育ちました。子どもの頃を思い返すと商店街で駄菓子を買ったり、コロケを買って食べたり、そういったことが楽しみでした。高度経済成長期もあって、町は活気にあふれていました。毎年楽しみにしていた玉淀水天宮祭。今でも変わらず続いているということは、とてもすごいことだと思います。若い頃は都会にあこがれ、寄居町から旅立ちたいという気持ちが強くなりました。大学卒業後、都内で働いていましたが、家業を継ぐために戻ってきました。生まれた町のDNAがあるのか、あらためて寄居の良さ、自然が多くて、都会にはない魅力があると感じましたね。現在、地域の皆さんに支えられながら、染物屋を営んでいます。伝統産業は、辞められる方も多く、のきなみ厳しくなっていますが、引き続きここ寄居町で、祖父の代から続いている家業を続けていきたいと思っています。



小淵 愛 さん

山崎（用土1出身）

私は、都内で動物病院やトリマーなどの経験を積み、平成28年に寄居町でペットサロンを開業しました。子どもの頃から動物が好きで、今では毎日動物に囲まれながら、忙しくも充実した日々を過ごしています。寄居町に戻ってきたのは、ひとえに地元が好きだから。小・中学校の時は、用土の体育祭に参加するのがとても楽しみでした。近所の皆さんが集まると途端に熱くなり、最後には「やってよかったね」と皆さん笑顔になります。特に障害物競走が好きでした。おばちゃんたちが作ってくれたお弁当もとてもおいしかったです。個人では犬の写真を撮影したり、写真展を催したりして活動しています。SNSの写真を通して、寄居町を紹介することもあります。今後もふるさとの祭典市などの地元のイベントにも積極的に参加し、生まれ育った寄居町をもっともっと盛り上げていきたいと思っています。



山崎 久雄 さん

栃谷

私は中学3年生の時、第2回合併記念駅伝競走に参加しました。小前田から用土までの区間を走り、折原中は準優勝だったと記憶しています。私の陸上人生はそこから始まりました。高校生の時には、インターハイに出場。卒業後は東京の企業に就職。国体には埼玉県代表として6回出場、昭和40年には、岐阜国体の5000mで優勝しました。公民館で優勝祝賀会を開いてもらったことはいい思い出です。マラソンでは、昭和41年にウィンザーマラソン（イギリス・ロンドン）に日本人代表3人で出場し、私は8位に入賞しました。パスポートが簡単には発行されない時代でしたから、特に記憶に残っています。第16回青森東京駅伝では、円谷幸吉さん（東京オリンピック（昭和39年開催）メダリスト）からたすきを受け取り、1着でゴールしました。27歳で競技から引退しましたが、寄居町の駅伝には10回以上参加しました。今でも毎年開催される駅伝を楽しみにしています。

02.11

寄居町合併 70 周年

02.09

第 70 回記念寄居町駅伝競走大会

2025



ウエディングパネルを設置

お二人の門出を祝しウエディングパネルの前で記念撮影。広報よりい風の画像をプレゼントしました。



小山司さん

第70回記念寄居町駅伝競走大会

この駅伝大会は、昭和30年に寄居町が合併したことを記念して「合併記念駅伝競走」として開催したのが始まりです。男衾中出身の小山司さんをゲストランナーに迎え、盛大に開催しました。



新井 優 さん

中郷

「我が人生・星三昧」。これは私の人生を表した言葉です。天体に関する本を読んでは「いつかは新井彗星を」と夢に見ました。小学校の時にレンズセットを購入し、望遠鏡を手作りしました。大学卒業後は望遠鏡メーカーに就職し、仕事の傍ら観測を続けました。昭和63年に小惑星「寄居」を発見。平成3年には未発見の彗星を観測しました。国立天文台の方に確認していただき、その彗星を「新井彗星」と名付けました。発見までに撮影した写真は1万5千枚以上。最高の気分でした。星雲や星団は同じ姿をしています。が、彗星は日々変化していきます。そういった「一期一会」の星であることが、私が彗星に魅了される理由です。今でも毎日天体観測を続け、天体の写真をインターネット上にアップしています。私の写真を通して、天体に少しでも興味を持っていただけるなら何よりうれしいことです。



川邊 隆弥 さん

関山

この地で生まれ育って37年。鉢形小学校の校庭で毎日のようにサッカーボールを蹴り、自宅に帰れば父と二人で会話をしながら一緒にパス交換したことは一生忘れません。子どもの頃、プロサッカー選手との出会いがきっかけで、夢はJリーガーになることでした。平成16年に現RB大宮アルディージャU18入団、平成19年には念願のトップチームとの契約が決定。プロのスカウトからの電話は鮮明に覚えています。Jリーグと海外リーグの試合移動も含め、世界約20カ国を渡りました。多くの方々の支えで、今では世界中に仲間がいるということは私の財産であり宝です。現在は日本サッカー協会（JFA）や日本テレビのアスリート事業、サッカー教室などに携わっています。一人でも多くの子どもたちが「夢」を抱き、人と比べることなく目標に向かっていってほしいと思います。子どもたちの自分らしく歩んでいく姿をこれからも応援していきます。

08.02

プロジェクションマッピング
(寄居玉淀水天宮祭)

SL 寄居町合併 70 周年記念号
(秩父鉄道 SL パレオエクスプレス)



SL 寄居町合併70周年記念号
(秩父鉄道SLパレオエクスプレス)

寄居玉淀水天宮祭に併せて、記念ヘッドマークを付けたSLが熊谷から三峰口までの56.8キロメートルを走りました。

08.01

記念御城印販売開始
オリジナルナンバープレート交付開始



プロジェクションマッピング
(寄居玉淀水天宮祭)

花火大会の特別イベントとして開催。荒川対岸に幻想的な映像を投影し、寄居町の歴史に新たな色と光を添えました。

06.08

よりの防災フェスタ



よりの防災フェスタ

防災ワークショップや起震車で地震体験、消防車両の展示、ミニ消防車体験を行いました。

合同表彰式



合同表彰式では町内で活躍する5つのコーラス団体が歌声を披露。合唱を通じ、受賞された方々への祝意を表しました。

夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会



約400人が参加した体操会。参加者の皆さんは早朝から共に体を動かし、運動の楽しさを共有しました。当日の様子はNHKラジオで全国に生放送されました。

巨大人文字 2次元コード撮影



男衾小・中学校の児童・生徒が協力して作り上げた巨大人文字2次元コード。頭の上に白・黒の画用紙を掲げて2次元コードを表現し、ドローンで撮影しました。

2次元コード撮影のPR動画をご覧ください。



合併70周年
お祝い給食



読み込めない方は
こちら

ふるさとよりい・こども合同発表会



町内の保育園(所)、幼稚園等の5歳児クラスの児童が一堂に参加。ダンスや鼓笛を披露し、交流を深めました。全員合唱では、童謡『手のひらを太陽に』を元気いっぱい歌いました。

12.17

11.08

10.27

10.25

08.18

合併70周年
お祝い給食

合同表彰式

巨大人文字 2次元
コード撮影

ふるさとよりい・
こども合同発表会

夏期巡回ラジオ体操・
みんなの体操会

Episode 08



大野 佳那 さん

川越市在住

寄居町で過ごした20年間。生まれてから当たり前のようにあった豊かな自然と温かな人情。町外に出て約4年。当たり前前だったことが、身近からなくなり、当たり前でなくなった頃、地元のありがたさを知りました。自然がとても身近にあって、幼少期は木に登ったり、虫をつかまえたり、荒川で遊んだり、子どもの時にしかできない貴重なことを体験しました。帰省すると安心感に包まれます。記憶にある景色、自然の香り、川のせせらぎ、きれいな星空、にぎやかなお祭り、あの頃にはなかった風景も全部が私の宝物です。寄居町は私にとって無条件に帰ることのできる唯一の場所です。

Episode 07



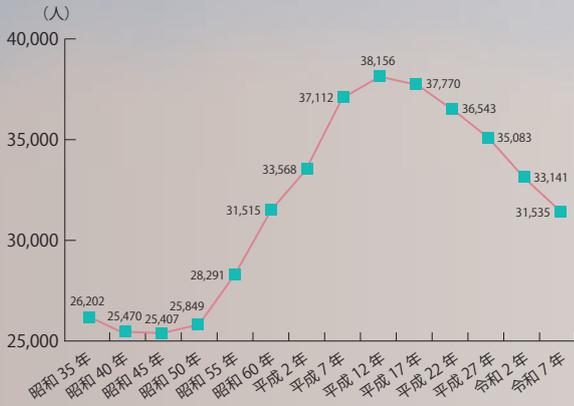
清水 誠 さん

藤沢市在住

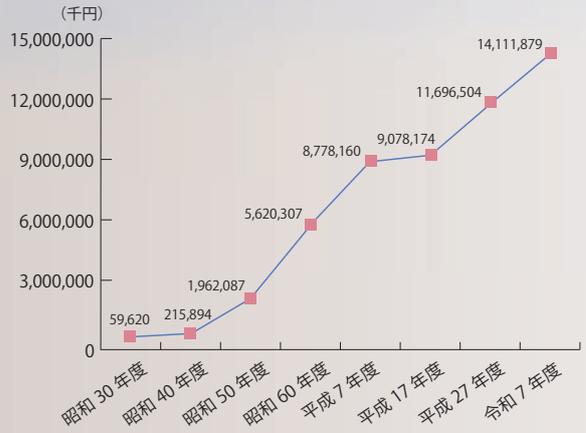
昭和30年2月、当時寄居小学校5年生、全校朝礼で校長先生から、寄居町が折原、用土、鉢形、男衾4村と合併して大きくなったことが伝えられ、何か誇らしい気持ちになったことを覚えています。寄居のまちを昭和41年の春に離れ、今は中学校の修学旅行で訪ねた江ノ島がある藤沢市に住んでいます。ありがたいことに地元在住の旧友が寄居中学校の同窓会を節目の年ごとに開いてくれ、最後は令和元年9月に卒業60周年記念総会が寄居で開かれ、80人ほどが集まりました。“風は緑に雲白く清き流れのふる里よ”今でも高らかに校歌を歌った日を忘れません。

数字で見る寄居町

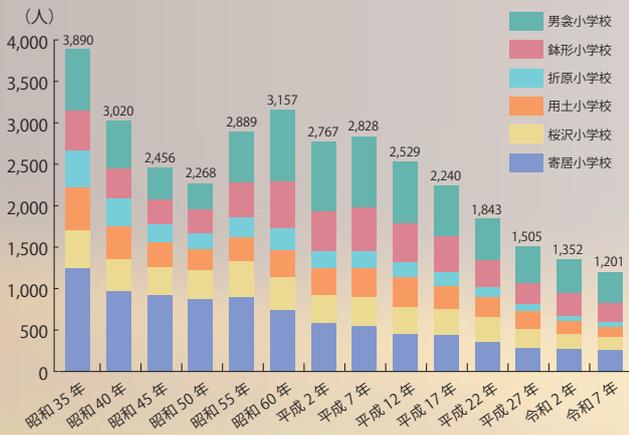
人口の推移（各年4月1日）



一般会計予算の推移

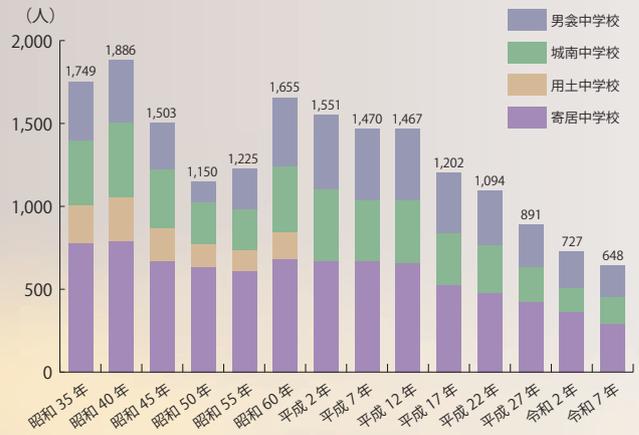


小学校児童



資料：学校要覧・学校基本調査（各年5月1日）

中学校生徒



資料：学校要覧・学校基本調査（各年5月1日）



町の花：カタクリ



町の木：ヤマザクラ



町の鳥：キジ

寄居町公式SNS



Facebook Instagram X



YouTube note



合併70年のあゆみを動画で紹介しています。

令和8年2月1日発行
発行／寄居町
編集／プロモーション戦略課
〒369-1292

埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180番地1

TEL 048-581-2121

FAX 048-581-5100

https://www.town.yorii.saitama.jp

